

商工業戦略プラン後期戦略における仮評価及び次期プランでの方向性

資料1

令和7年1月24日～2月12日の期間で書面開催した令和6年度商工業戦略プラン推進会議にて、後期戦略の仮評価及び次期プランでの方向性を議論しました。

施策	取組事業	内容	後期戦略期間(全体)における取組	令和6年度実績・予定	仮評価	次期プランでの方向性
新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるための経済施策	資金繰りに対する支援	・セーフティネット保証4号を使った市制度融資の全額補給制度の継続など使い勝手のよい融資制度の提供 ・各種給付金制度の情報周知と制度の狭間部分に対する独自支援	・セーフティネット保証4号を使った市制度融資の利子・保証料の全額補給を継続して実施。 ・事業者の負担軽減を図るため、市独自支援の「エネルギー料金高騰対策助成金」や「貨物自動車運送事業者等燃料費高騰対策助成金」を実施。	・令和6年度にセーフティネット保証4号を使った市制度融資を新規で実行したものはないが、令和5年度以前に実行した同制度融資について、利子・保証料の全額補給を継続して実施。 セーフティネット保証4号に係る利子全額補給件数：285件(予定) セーフティネット保証4号に係る保証料全額補給件数：279件(予定) ・国や県が実施する補助制度等を、市ホームページに掲載。	1. 十分達成	・今後も中小企業向けの融資制度の展開及び利子・保証料補給を実施していく。
	新しい生活様式に対応するための支援	・事業所におけるキャッシュレス決済・テレワーク推進、その他感染防止対策の徹底	・事業者の事業再構築・設備投資を支援するため、国の補助制度申請に関する専門家の支援費用を独自に補助する「事業再構築・設備投資促進補助金」を実施。 ・公募により選定したキャッシュレス決済サービス「タイムズペイ」について、市内店舗が新たに導入する場合、初期導入費の無料化や一部決済ブランドの決済手数料率の優遇といった支援を実施。	・国や県が実施する補助制度等を、市ホームページに掲載。	1. 十分達成	・今後も情報発信などの支援を継続して行っていく。
	消費喚起のための支援	・店舗の感染対策徹底、テイクアウト推進等コロナ禍でも安心して消費できる環境の整備 ・プレミアム付商品券発行、ポイント還元事業等の実施検討	・市民が安心して利用でき、従業員も安全に働ける環境づくりを支援するため、感染防止対策を実施している事業所の登録制度を設け、ステッカーとポスターを配布し、市ホームページで公表。 ・国の交付金を活用し、令和3年度及び令和5年度にキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施。さらに、市内商店会等が令和5年度に実施した消費活性化対策(キャッシュレス決済ポイント還元事業・クーポン券発行事業・プレミアム付き商品券発行事業)に係る経費の補助を実施。	・国からの交付金がなかったため実施なし。 ※R6.3.22～R6.3.31にPayPayによるキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施	1. 十分達成	・消費活性化対策については、国からの交付金等の動向を注視しつつ、検討を行う。
これからの時代を見据えた経済施策	ビジネスマッチング・異業種交流の推進	・「共同ビジネスマッチング事業」の利用促進 ・起業家交流会の実施等による情報交換・人的ネットワークの形成支援	・事業者同士をつなぎ、新たな取引先の開拓や新商品開発等を支援するため、「共同ビジネスマッチング事業」を継続して実施。 ・起業を目指す方や起業家の交流会を開催し、業種を超えた交流の場を設け、情報交換や人的ネットワークの形成を支援。	・共同ビジネスマッチング事業においては、令和7年1月末までで688件のマッチングに繋がった。これまでの商品開発に至った事例として、未利用魚を活用した「コノシロのやわらか煮」や、ブリーツ加工を施したオリジナルの「ブリーツスカート&カットソー」(婦人服)などがある。また、令和6年度のマッチング事例として、船橋産の小松菜やにんじんを練りこんだ自家製パスタが大手カタログギフトの掲載に至ったものなどがある。 ・ふなばし未来ミーティング(異業種交流会)の開催 対 象 船橋の活性化に興味のある商工農漁業・サービス業・文化・芸術・スポーツ等各業界で活動する方など 第1回 令和6年11月22日(金) 参加者100人 第2回 令和7年 3月13日(木) 参加者100人	2. おおむね達成	今後も継続して実施していく。
	販路拡大の支援	・電子商取引導入支援・ふるさと納税返礼品制度の充実化による販路拡大 ・工業振興支援事業補助金の対象拡大	・令和3年度に協定を締結した(株)メルカリ・(株)ソウゾウとの市立高校との教育連携事業として、生徒が市内事業者のネットショップ開設支援や、新商品開発及び販売支援を行った。 ・ふるさと納税で、毎年、寄附者に対して返礼品として地場産品を贈呈することで、事業者の販路拡大に寄与。 ・工業振興支援事業補助金は、令和4年度から、「製造業・建設業・運輸業」に限定していた補助対象業種を全業種に拡大し、支援を継続している。	・ふるさと納税は、左記のとおり事業者の販路拡大に寄与しており、令和6年度は2月末時点で約9億円の寄附実績である。 ・工業振興支援事業補助金については、左記のとおり支援対象業種を拡大しており、令和6年度はいずれも製造業である全4事業者から、11月末までに予算額に達する申請があった。	2. おおむね達成	今後も継続して支援事業を行っていく。
	商店街の活性化	・事業再構築等を希望する個店の支援やNPOや民間事業者と連携した商店街活性化 ・商店街空き店舗に関する物件紹介制度の創設	・「商店街賑わいづくり支援事業補助金」を活用し、消費者参加型イベントや商店街区の装飾に係る経費を支援。象徴的な取組として、令和4年度には船橋市前原商店会が設立70周年を迎え、「地域こどもまつり」やプロジェクトマップを開催。令和5年度には三咲本通り商店会と金杉台商店会が4年ぶりの夏祭りを実施。令和6年度には北習志野の4商店会が千葉工大生と合同イベントを実施。 ・商店街空き店舗対策として、令和4年に(一社)千葉県宅地建物取引業協会船橋支部と協定を結び、物件情報を市HPに掲載。	・「商店街賑わいづくり支援事業補助金」は、令和6年度は15団体がイベントを実施する予定。象徴的な取組として、北習志野の4商店会と千葉工業大学が合同でイベントの実施や、SNSを活用したクリスマスフォトキャンペーンの実施など、新たな取組を行う商店会が増加。 ・「空き店舗対策事業補助金」は、11月時点で予算に達してしまい、申請を断念する者も多数発生した。コロナの収束に伴い、新たに事業を始める者が増加傾向にあると考えられるため、令和7年度は予算を増額要求(約300万円)している。また、市内で物件を探している事業者への空き店舗物件に関する情報提供も引き続き行う。	2. おおむね達成	両事業とも、今後も継続していくとともに、より効果的な事業の活用について検討していく。

観光プロモーションの推進	・マイクロツーリズムの推進 ・ドラマ・映画の撮影支援及びロケ地の周知によるロケツーリズム化 ・ロケ地・既存施設の回遊性向上	・ロケ地の周知促進と観光振興のため、ロケ風景の写真や出演者のサイン色紙等を展示する「ふなばしロケーションズ」ふなロケ企画展」を、令和4年度は市内11カ所で開催。また、市内のロケ地を紹介する「ふなロケマップ」を作成し、ふなばしアンデルセン公園やふなばし三番瀬海浜公園などを掲載。 ・積極的なロケ支援を行い、反響の大きい作品に取り上げてもらうことで市や施設の周知につなげた。また、令和4年度にはロケ地を巡る「ロケ地めぐりモニターツアー」を実施し、市内の回遊性の向上に寄与。	マスコミを通じた船橋市の露出機会の拡大とロケ地の将来的な観光資源化を目的としてロケ支援事業を実施。併せて取組やロケ地の周知とロケ支援機運の醸成を目的として、ロケ風景の写真や出演者のサイン色紙等を展示する企画展を市内11カ所で開催した。また、ロケ地を巡る「ロケ地マップ」の制作、観光フリーマガジンのリニューアル、観光協会によるポケットガイドの制作など、観光資源の周知とPRを通じたマイクロツーリズムと観光振興の活性化を図った。	2. おおむね達成	ロケツーリズムの効果的な活用について検討を行う。
ICT活用の推進	・セミナー開催等によるICT活用推進及び新たなサービス・ビジネスモデル創出の促進	中小企業者の持続的な発展や生産性向上のためICT導入支援を目的として、年1、2回程度、毎回テーマを変え、ITシリーズセミナーを開催した。(テーマ実績:クラウド、SNS、RPA、データセキュリティ)	令和6年11月27日に「データセキュリティ」をテーマとしたITシリーズセミナーを開催し、20名参加。次回以降は「AI」をテーマとしてITシリーズセミナーを開催予定。	2. おおむね達成	今後も継続してセミナー開催等を通して支援を行っていく。
多様な人材活用・働き方改革の推進	・市内企業の労働力不足解消及び多様な人材が希望どおり働けるための就労支援体制の継続・強化 ・官民連携による「健康経営」の啓発・促進	・障害者職場実習先開拓員による企業開拓と実習奨励金の交付を実施。また、障害者雇用優良事業所表彰「ふなばし♡あったかんぱー」表彰や啓発イベントも実施。 ・若者・就職氷河期世代支援では、国実施の「ふなばし地域若者サポートステーション事業」を習志野市と協働で支援。高齢者・女性向けには、県や近隣市と連携し再就職支援セミナーを開催。 ・事業者向けには、ダイバーシティ推進支援として株式会社オリエントコーポレーションと人材採用セミナーを実施。また、「船橋市地域・職域連携推進連絡協議会」を通じて健康経営の推進を図っている。	・障害のある方への就労支援として職場実習先開拓の実施、および障害者雇用優良事業所表彰と障害者雇用促進・啓発イベント「『はたらく』ということ」開催予定。 ・若者・就職氷河期世代への就労支援として「ふなばし地域若者サポートステーション」事業を実施。 ・ダイバーシティ推進のために、株式会社オリエントコーポレーションとの包括連携協定に基づき、事業者向けに人材活用セミナーを実施。 ・女性への就労支援として再就職支援セミナーを開催予定。 ・「船橋市地域・職域連携推進連絡協議会」に委員及び作業部会員として参加し、事業者向けに健康経営を推進する施策について検討し、また協議会の推進する施策について周知を図った。	2. おおむね達成	今後も時代のニーズに即した人材活用を推進するため、情報収集をしながら事業を展開していく。
創業・事業承継の支援	・関係機関との連携による創業及び事業承継支援の推進 ・市制度融資による資金繰り支援	・「創業支援等事業計画」を策定し、商工会議所と共に「ふなばし起業スクール」を年2回実施。 ・市主催の起業啓発セミナー「ふなばし起業スクールオープンセミナー」と特定創業支援等事業の受講生を対象とした「ふなばし起業スクールフォローアップセミナー」を継続開催。 ・市制度融資において創業支援資金を実施し、利子補給は他の制度よりも補給率を高く設定し、創業者を支援。 ・事業承継では「事業承継支援ネットワークちば」に参画し、情報を市内事業所に提供している。	・創業については、8月と10月に啓発講座として「ふなばし起業スクールオープンセミナー」を開催し37名が参加。下半期には創業に関する更なる知識取得を目的として「ふなばし起業スクールフォローアップセミナー」を開催予定。 ・事業承継については、毎月広報ふなばしに「事業承継支援ネットワークちば」の相談会の情報を掲載するほか、窓口にて事業承継に関するリーフレット、チラシ等の配架を実施。	2. おおむね達成	今後も継続して支援していく。
企業立地の支援	・市内の空き用地・テナント情報の収集及び情報提供に関する制度構築の検討	令和4年に(一社)千葉県宅地建物取引業協会船橋支部と、「船橋市事業用物件情報提供に関する協定」を締結し、空き用地・テナント情報の収集及び情報提供を実施。	引き続き市内への企業立地促進を目的として、(一社)千葉県宅地建物取引業協会船橋支部と「船橋市事業用物件情報提供に関する協定」をもとに、企業誘致及び空き店舗対策を推進している。また、市内に進出を希望する事業者から問合せが令和6年度は1月7日時点で8件あり、千葉県宅地建物取引業協会船橋支部へ照会を行った。	2. おおむね達成	今後も継続して情報収集、提供を行っていく。
災害への備えの強化	・「船橋版簡易BCP策定シート」活用等による市内中小企業のBCP策定支援 ・国に対する海岸保全施設の早期整備の継続要望	・損害保険会社と事業継続計画(BCP)策定支援に関する協定を結び、これに基づいて「船橋版簡易BCP策定シート」を活用したセミナーを定期的に開催。 ・国に対して、海岸保全施設の迅速な整備と企業が所有する護岸の耐震化に対する支援を継続的に要望。	・令和6年9月2日に「船橋版簡易BCP策定支援セミナー」を開催し、14名の参加があった。これまでにBCP策定支援セミナーに参加した方へアンケートを実施したところ、BCPの策定に至った事業者が5者であった。また、令和6年3月に、小規模事業者の事業継続力強化を支援する「事業継続力強化支援計画」を船橋商工会議所と共同で策定した。 ・海岸保全施設の迅速な整備と企業が所有する護岸の耐震化に対する国からの支援について、一般社団法人千葉県経済協議会を通しての要望等を継続して行った。	2. おおむね達成	今後も継続して支援、要望を行っていく。
臨海部の高度利用化	・谷津船橋IC周辺部における物流施設の集積による産業基盤の維持増進	・東京外かく環状道路等の交通インフラ整備により操業ニーズが高まっているため、令和4年度に船橋市都市計画マスタープランの「まちづくりの方針」に「付加価値の高い土地利用の見直し」を盛り込むべく関係部署と協議した。また、令和5年度は、マスタープラン改定に伴い、臨海部の高度利用化について関係各所と情報共有を行った。 ・産業用地の枯渇に対応するため、「新商工業戦略プラン」で工業地域の今後の方針を示せるよう準備を進めている。	引き続き、市内においては未利用となっている産業用地が枯渇しつつあることから、今後の工業地域の在り方について、「新商工業戦略プラン(仮称)」において方針が示せるよう現状や課題整理を進める。	2. おおむね達成	引き続き土地利用に関する都市計画的観点から検討していく。

【仮評価の項目】

1. 十分達成: 目標を完全に達成し、期待以上の成果が得られた状態
2. おおむね達成: 目標のほとんどを達成し、一部改善の余地はあるものの、全体的に満足できる結果が得られた状態
3. 一部達成: 目標の一部は達成されたが、重要な部分で未達成があり、さらなる改善が必要な状態
4. 未達成: 目標のほとんどまたは全てが達成されず、抜本的な見直しや対策が必要な状態